

～ 新しい地域支援を考える ～



6月26日(金)午後1時30分から稲築地区公民館で、第3回支えあいのまちづくりサポーター養成講座を開催し、50名の方が参加されました。

テーマは、「新しい地域支援を考える」です。平成27年度の介護保険制度改正によりどんな困りごとが出てくるのか、またそのためには、どのような支えあう関係づくりが必要なのかについて、公益財団法人さわやか福祉財団のさわやかインストラクター石井義恭さんから、話を伺いました。

Q. 今回の介護保険制度で変わることは何ですか。

平成27年8月から自己負担割合が見直され、一定以上の所得があれば2割負担になります。施設入所等での食費や居住費の負担軽減を図る補給給付についても、預貯金が勘案されるよう見直されました。また、特別養護老人ホームの入所要件が原則、要介護3以上になります。なかでも、一番大きな変更は「新しい総合事業」が始まることです。この事業は「時間をかけた地域づくり」を目指す取り組みです。

Q. 新しい総合事業について教えてください。

要支援1・2の方が利用している予防給付のうち、訪問介護(ヘルパー)と通所介護(デイサービス)については、平成29年度までに市町村が地域の実情に応じて取り組みができる介護保険制度の地域支援事業へと移行されます。介護事業者による「専門的なサービス」だけでなく、NPOや民間団体、地域の方々が取り組む「多様なサービス」で高齢者の生活を支える仕組みづくりが求められています。新しい総合事業は介護予防を推進し、多様なサービスを増やすことで地域全



体としての支援体制を強化するための施策であり、いち早く取り組むことが望まれています。

Q. 地域の方々が高齢者を支える仕組みづくりのためには何から始めればよいのですか？

まずは、今までの考え方を変えることです。「サービスづくり」から「地域づくり」、「待つ」から「創り出す」、「支援する側される側」から「できることを担う」というような発想の転換が必要です。一人で考えるのではなく、どんなふうに考えていけばいいのかを地域のみなさんが話し合う場があるといいですね。



Q. 成年被後見人が結婚する場合、後見人の同意が必要でしょうか？

A. 同意はいりません。財産行為は、具体的な行為の結果が自分にとって利益であるかどうかを判断できる高度の意思能力が必要とされるのに対し、結婚や離婚、養子縁組など身分上の行為については本人の意思を尊重する趣旨から、具体的な行為が何であるかを理解でき、意思能力があれば足りると民法738条に定められています。



社会福祉法人の 地域貢献についての意見交換会

6月19日(金)、市内にある社会福祉法人の職員のみさん(10施設13名)と意見交換会を行いました。

平成29年度から、社会福祉法人には、地域貢献活動の計画策定と実施が義務化されていますので、まずは、現在取り組んでいる活動や今後の予定について話を伺いました。地域の清掃活動や施設の祭り、アンケートを実施してのニーズ把握などに取り組まれていることや、今後取り組んでいきたいことを話してもらいました。

その後は、本会のセンターがかかっている事例をもとに、孤立やひきこもり、片付けのできない家庭、DV、ネグレクトなど様々な困りごとの解決方法を一緒に考えました。早速解決への一歩につながるのであると思われる意見もありました。



情報交換しながら嘉麻市にしかできない地域貢献活動を一緒に考えていく事になり、横のつながりを深めることができました。

安心・安全に介護を続けていくために

在宅介護者の集いリフレッシュ事業

7月9日(木)、在宅介護者の集いリフレッシュ事業を実施しました。

この事業は、在宅で介護をされている方のリフレッシュを図ることを目的に、年に度開催しているもので、8名の参加がありました。

今回の最初の目的地は、春日市にあるクローバープラザです。ここでは、福祉用具展示室や生涯あんしん住宅という加齢や身体の特性に応じた住まいのモデルルームがあります。

中を見学すると、微生物の力を利用したポータブルトイレや介護しやすいように工夫



されたベッドなど、様々なアイデアが盛り込まれた福祉用具がたくさんありました。

参加者の皆さんは、職員の方の説明を聞き、わからないところや詳しく知りたいことは積極的に質問され、自分の介護の状況にあった福祉用具を探されていました。参加者の方からは「初めて見たものも多くてびっくりした」、「福祉用具は日々進化しているのだ

と思った。こうした福祉用具があることを知っているのと知らないのでは全く違う。必要になった時に担当のケアマネジャーに相談したい」といった声も聞かれました。

その後は、太宰府市内にある九州国立博物館へと移動し、昼食をとった後、館内を観覧したり、ご家族へのおみやげを買ったりと自由な時間を過ごし、帰路につきました。

初めて参加された方は、「介護のことをもっと勉強したい」と思い参加した。これからも定



例会に参加して、皆さんの経験などを聞きながら、自分の介護に生かしていきたいと話されていました。

定例会は、毎月第二木曜日に稲築住民センター、山田ふれあいハウスの交互で開催しています。関心のある方は、ぜひ左記までご連絡ください。



電話 0948(42)0751

2015年 6月21日(日)

今日は、小竹町のNPO法人ちくほう共学舎「虫の家」で開催された、「6・22『らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日』講演会」に行ってきました。朝日新聞大阪本社編集委員の高木智子さんが、「『隔離の記憶』の先～共感ジャーナリズムから考える」というテーマで話されました。

高木さんは、ハンセン病のこと、隔離や差別のことについて知った時から、「何がこうさせたのか」「どんな事実があったのか」ということを、全国の療養所での取材をとおして追い求められています。



「知らない人にどれだけボールを投げることができるか」を常に大切に、興味をひくような言葉を使い、押し付けるのではなく浸透させるようにしているというお話を伺い、「読んでみたい」という強く熱い思いを感じました。

また、誰のために何のために報道するのかを常に自分に問いかけられていて、それは「被害者の方の名誉の回復のためだ」と言われたことがとても心に残りました。その思いから、できるだけ笑っている写真を使ったり、辛い暗いイメージだけでなく、ふるさとで受け入れる家族もいることを記事にしたり、療養所でたくさんの友人と生きがいをもって過ごされている方のことも伝えられています。

全国の療養所で出会った一人一人の想いを大切にしながら取材されている高木さんのこだわりや「伝えたい」という強い気持ちからたくさんのことを学びました。

2015年 6月23日(火)

今日は、業務終了後に、職員自主勉強会を行いました。6月11日に開催されたさわやか福祉財団主催の「生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会」に職員4名が参加して、いち早く社協全体で同じ目標に向かって進めていくことが必要と感じ、そのためにはまず社協職員みんなが一枚岩になることが必要ではないかということで、企画したものです(＾O＾)

本会の木山事務局長から、昭和38年の老人福祉法制定に始まる様々な高齢者をめぐる動向について、皆で話をしながら復習し、まずこれまでの時代の流れや背景をきちんと押さえることが大切だということを感じました。そして、団塊の世代すべてが65歳以上になるという2015年問題を迎えた今、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年問題を考えて、社協はどうしなければならぬのかを問いかげられ、一人ひとり真剣に考えてました。

それから、地域包括ケアシステムの構築についてや新しい介護予防事業についてを学びました。新しく始まる介護予防・生活支援サービス事業に加えて、協議体を設置したり、コーディネーターを配置すること、また、通所型サービスは、社協がすでに取り組んでいることを発展させたり、足りないものを補っていくことで対応できることをおさえました。

他にも、ボランティアは、する・されるの関係ではなく、一人ひとりにできることがあり、『みんながボランティア』という考え方を学びました。その後は、4つのグループで、どんな地域にしたいか、協議体にはどんな人に参加してもらいたいかを話し、それぞれが発表しました。

普段なかなか話す時間もとれない違う職種のメンバーと、いろんな意見交換ができ、有意義な時間となりました。最後に木山事務局長が、今、個別支援、集団支援、地域支援に加えて、『地域生活支援』という概念が求められていて、相談を、聞き捨てず、諦めず、援助していくために社協職員全員が取り組まなければならないということで、まとめをしました。これからもみんなで学ぶこのような勉強会を、定期的に開催していきたいと思ひます(*^_^*)



中益行政区内に二つ目のサロンが誕生しました。地区内で定期的に集まっていたメンバーが、「デイサービスに行く回数が減った」という地域の方の声を聞いて、何か集まる場所を作りたいとの思いで始められ、4月から活動されています。立ち上げる前の打ち合わせの中では、サロン名は「なかます」と平仮名にし、『なかよく』『ますます元気に』という思いを込めようと話をされました。「男性も若い人もみんなに出て来てもらって楽しく過ごしたい」とチラシも作られ、地区のみなさんに配布されました。



4月は社協の出前講座、5月はみなさんで地域の歴史を学ばれるなど、次の世代に残していくために積極的に取り組まれています。住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていくために動き出したみなさんの活動に、今後注目していきたいと思ひます。

ふれあい・いきいきサロンに
おじゃましました
『ふれあい・いきいきサロン なかます』誕生



7月は、マンダリンの演奏に合わせて懐かしの音楽を楽しめました。

ご案内

◆在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

- ・8月20日(木) 13:00～15:00
稲築住民センターにて(漆生878番地)
- ・9月10日(木) 13:00～15:00
山田ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

◆ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしています。

- ・8月27日(木) ・9月24日(木)

◆フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

- ・8月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)
- ・9月3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)

※ひきこもり家族の集い、フリースペースの場所は、いずれも寄ってこハウスで、時間は13時30分～15時30分です。
日時等が変更になることもございますので、事前にご連絡いただければ幸いです。

◆支えあいのまちづくりサポーター養成講座

嘉麻市社協が設立されて10周年の節目の講座を開催しています。

・第6回 テーマ

いつまでも住み慣れた地域で暮らしたい

講師 宅老所よりあい 代表 村瀬孝生氏
9月25日(金) 13:30～15:30
夢サイトかほ

・第7回 テーマ

ハンセン病差別の中で生きて

講師 国立療養所菊池恵楓園自治会
杉野佳子氏

10月14日(水) 13:30～15:30
稲築地区公民館

地域支えあい事業が利用しやすくなりました

本会が実施している、地域支えあい事業が、より利用しやすくなり変わりました。

「腰が悪くて給油ができない」「足が痛くてゴミ出しができない」など、自分では解決できないちょっとした困りごとの相談が多く寄せられています。そのような相談を、協力会員が解決し、「困った時はお互い様」の関係を地域に広めていきたいと考えています。

サービス内容や金額は下記の表のとおりです。

サービス名	具体的な内容	利用料金
快適日常サービス	電球の交換、話し相手、ごみ出し、代読、代筆、声かけ訪問、給油(灯油)など	250円/30分 500円/1時間
快適専門サービス	家屋の小修繕、庭木の剪定、パソコン指導、草とり、草刈りなど	400円/30分 800円/1時間
	草刈り利用の場合(機械)	1,600円/1時間
いきいき介護サービス	食事介助、入浴介助、排泄介助(おむつ交換)など	500円/30分 1,000円/1時間
	一時預かり利用の場合	1,000円/1時間
いきいき家事サービス	食事の準備、衣類の洗濯、住居などの掃除・整理整頓など	800円/1時間
すくすく育児サービス	育児相談、産前産後の手伝いなど	800円/1時間
車による外出支援サービス	入退院・転院、通院、施設の移動、買い物、本人同行による薬とりなど	500円/30分 1,000円/1時間
外出時の付き添いサービス	散歩、買い物、冠婚葬祭、入退院・転院、通院、公共機関等の利用など	250円/30分 500円/1時間

困りごとを抱えている方は利用会員への登録を、解決に向けたお手伝いをしてくださる方は協力会員への登録をしてもらっています。

本事業について、詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751 Email:tiiki@kama.syakyo.com

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

平成27年度から介護保険制度が改正されました。今までの介護事業所によるサービスに加えて、どのような仕組みづくりが求められるのでしょうか？

- (1) 司法・行政・福祉の連携を強化する仕組みづくり
- (2) 医療機関連携で支える仕組みづくり
- (3) 地域の方々が高齢者を支える仕組みづくり

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、8月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

● 送付先 〒820-0205 嘉麻市岩崎1-43番地3 嘉麻市社会福祉協議会 E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

● 前号のクイズの答え (2) 第5回支えあいのまちづくりサポーター養成講座で行く国立ハンセン病療養所は、菊池恵楓園でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。
「歓迎遠足の写真は、天気が良くて、すごく楽しくいい笑顔でほのぼのですね。いつも拝見していますが、内容の充実が感じられます。」

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

災害ボランティアセンターを常設しています

災害ボランティアセンターは、被災された方と何か役に立ちたいという思いを持たれているボランティアさんを結び、困りごとの解決に向けた支援などを行います。

かまボランティア・市民活動センターでは、災害ボランティアセンターを常設しており、以下のような取り組みを行っています。

①災害ボランティア活動に関する情報の提供

市外で災害が発生した際に、情報を収集し、ホームページやブログ、Facebook等で発信します。

②災害ボランティアに関する広報・啓発

嘉麻市社協だより「えがお」等を通じて、災害ボランティア活動に関する啓発を行います。

③災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

災害が発生した際に、迅速にかつ効果的にセンターを運営できるよう、市民のみなさんとともに、訓練を実施します。

④災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し

設置運営マニュアルをもとに実施した訓練によって、見えてきた課題を整理し、見直しを行います。

⑤被災地への職員の派遣

市外で災害が発生した際に、職員を被災地へ派遣します。また必要に応じて、嘉麻市内でボランティアを募集し、被災地で活動する支援も行います。

⑥災害ボランティア連絡会の開催

市内外の各関係機関や個人ボランティアとの連携を強化するとともに、意見や情報交換を行う災害ボランティア連絡会を開催します。

このほか、災害ボランティアに関する様々な相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



広島市での災害ボランティア活動の様子



ボランティアを募り、被災地へ



高校生を対象にした
災害ボランティアコーディネーター研修



災害ボランティア連絡会の様子

かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

ボランティア募集情報

①敬老会でのボランティア

敬老会のお手伝いやサポートをしてくださる方を募集しています。

日時 平成27年9月12日(土) 13時30分～15時

場所 通所介護 うすいの里
(嘉麻市下白井1055)

募集人数 2～3名

備考 動きやすい服装をお願いします。

②水泳ボランティア

ふぁん・ファン・funでは、小学生を中心とした障がいをもつ子ども達と一緒に水中でのレクリエーションの補助をしていただける方を募集しています。

日時 ①平成27年8月22日(土) 10時30分～11時30分
②平成27年9月26日(土) 10時30分～11時30分

場所 サルビアパーク(嘉麻市上山田352)

活動内容 水中レクリエーションの補助

募集締切 ①8月7日(金) ②9月11日(金)

備考 水着、タオル、水泳帽子をご用意してください。
活動後は軽食を準備します。

お問い合わせ先・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751



お医者さんは神様ではない



編者：山田 真
出版社：筑摩書房

この本は、学者、医者、心理学者など専門家と呼ばれる方たちへの無条件な信頼が子どもの育ちにどんな弊害や危険性をもたらすか、次の著者とテーマで書かれています。

山田真さん「いま、小児科医の育児指導は...」

「親子の絆」をめぐる
川端利彦さん「子どものこころを見る目」
カウンセリングを考える

野辺明子さん「障害の発生予防とは、早期治療とは」
先天性四肢障害児の親の経験から

浜田寿美男さん「現在を生きる子どもと心理学」
「発達」を問い直す

石川憲彦さん「お医者さんは神様ではない」
専門家としての考えのずれをめぐって

この話からも、子どもがのびのびと育つ社会を考えていくことの大切さが伝わってきて、はじめて気がつくことばかりでした。

また、子どもを産み、育てる過程の中で出会う専門家の方たちに対して、神とあがめてしまう背景には、みんなと同じなら安心できるという思い込みや競争社会の中で勝ちぬくことが人生の成功という価値観があること、弱い立場にある方の不安をおおる寒々とした社会があることが指摘されています。

精神科医として子どもさんをカウンセリングされている川端さんの話には、偏差値の高さではない大切なものとして、自分で考える遊びや人との出会い、生きる中での感動、いろいろな人たちの生き方を受け入れることが書かれています、深い感銘を受けました。

この本の初版は、28年前の1987年に発行されていて、あとがきで、「なにごとかを判断しようとするときに、ひとまず専門家の意見を伺ってそのうえで自分の判断を組み立てることが蔓延していることが、この時代の1つの特徴である」と書かれています。それは、今も変わっていません。社会の流れに巻き込まれている自分に気付かされた一冊でした。（きはら）

9月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

- 法律相談**
とき：9月3日(木) 13:00~16:00
ところ：山田ふれあいハウス
- とき：9月17日(木) 13:00~16:00
ところ：稲築住民センター
- 心配ごと相談**
とき：9月9日(水) 13:00~15:00
ところ：稲築住民センター
- とき：9月30日(水) 13:00~15:00
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

炭鉱の記憶

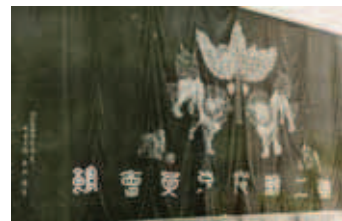
No. 101

以前紹介した、絵本『ボタ山であそんだころ』を描かれた石川えりこさんご実家（山野）で、家族の方から炭鉱の写真を見せていただき、お話を伺いました。

えりこさんの祖父、石川優さんは、大正6年頃、絵を描きたいと上京し、美術大学へ進学後画家になりました。家庭の事情で山野の家に戻って来た後、小学校の教員をしながらも絵筆は捨てませんでした。その後、依頼があり日鉄二瀬炭鉱（飯塚市潤野）の広報係として定年まで勤められました。

右下の写真は、優さんが描かれた絵で、日鉄二瀬炭鉱の幕です。力強く獅子が描かれています。他の二枚の写真は、昭和28年8月に、優さんが広報係として撮影されたものです。右側は午前7時半撮影と記録されています。左側は正確な時間は分からないのですが、夜遅くまで街が明々としていたことが分かります。炭鉱で遅くまで勤務されていた方、朝早くから家を出られる方がいた当時は、街全体がこのように明るかったそうです。ボタ山の上の光は、「トロッコ」が通るために点かされていました。

白黒の写真ですが、光がともきれいで、炭鉱で栄えていた当時の様子がとてもよく分かります。



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751

今月のえがお

最近“えがお”になった出来事を教えて下さい!!



末次 さとる 悟さん

病気になって言葉が出なかったが、前向きに頑張って、リハビリと努力の結果、回復してきて嬉しい。くじけずに頑張っていきます。スタッフの方々に感謝しています。



湯谷 知恵子さん

夫を在宅で介護しています。2月に入院しましたが、4月に退院し、健康で一緒に過ごせる今が幸せです。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

■子育てリユースセンター利用者からの声

利用者の方に子育てリユースセンターについて伺いました。

●お父さんの声

時々子どもを連れて見に来ています。子どもはすぐに大きくなり、洋服のサイズが合わなくなるので、とても助かっています。いろいろ飾ってある服の中には、気に入った服もあり、見ていて楽しいですよ。また、土曜日や日曜日に開いているのがいいですね。(高鍋さん 山田地区)

●お母さんの声

子どもが大きくなり、買っていた洋服はすぐに着ることができなくなってしまいます。まだ新しいので捨てることができなかったのですが、リユースセンターに持っていくことで、着てもらえることができ、私も洋服や帽子など持ち帰り、とても助かっています。(徳丸さん 碓井地区)



山田ふれあいハウスの2階に開設している子育てリユースセンターは、12月29日～1月3日以外は、毎日利用することができます。時間は午前9時から午後5時までです。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

問い合わせ先 山田ふれあいハウス 嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

嘉麻市
社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

おかむら葬祭 岡村会館

嘉麻市平1133 ☎ (0948) 42-4420

平素より地域の方々にご利用いただき、感謝申し上げます。

今後も地域に根付いた葬祭場として、微力ながらもお役に立てますよう、社員一同知識の向上に精進して参ります。

葬儀についてご不明な点などございましたら、お気軽にご来館、お問い合わせください。



葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭 岡村会館を含め、市内に8ヶ所あります。

飛鳥会館 南斎場.....	☎42-4241	セレモニーホールおおつか.....	☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場.....	☎62-4499	かほ葬祭 あじさい会館.....	☎62-5566
ひさつね会館.....	☎52-0758	善光会館 稲築会場.....	☎83-5000
いすや会館.....	☎57-4444		

●香典返し

6月1日～6月30日受付分

香典返し・寄附

みなさまの善意、心より厚く、お礼申し上げます。



親族 [上白井下] 故族	親族 [桑野] 故族	親族 [上町] 故族	親族 [中益] 故族	親族 [中山田下] 故族	親族 [昭和] 故族	親族 [本町] 故族	親族 [枝坂] 故族	親族 [漆生東] 故族	親族 [平第二] 故族	親族 [鴨生町] 故族
村田	有江	藤木	石堂	谷川	澤田	山倉	松本	小長	荒巻	渡邊
光公	義弘	アキ子	ユキ子	フ正	勝和	ヨ立	文積	コシ	嘉子	米雄
男代	弘広	子勉	子享	エ守	美幸	子志	美子	保ズ	子厚	エ雄
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

●寄附

〔二般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同 様

〔子育てリユース〕

山野第一 鬼塚かよ子 様

平第二 手柴加代子 様

鴨生北町 服部 陽子 様

熊本 中島 瞳 様

百々谷 佐藤 麻美 様

木城 笹尾 航希 様

大隈 大里 理子 様

大隈 大里 盛人 様

〔アルミ缶〕

漆生中央 田中茶舗 様

漆生南浦 西田 幸子 様

漆生南浦 岩田 勇治 様

東岩崎 松岡 光 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

平第二 匿名 様

百々谷 橋本 利根 様

百々谷 吉元 悦子 様

天神 島田 睦男 様

木城 笹尾 航希 様

中央 明石 睦則 様

猪之鼻 菊池 春政 様

立石 矢野 千恵 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

上西郷 山口 春雄 様

芥田 大野スマ子 様

宮吉 匿名 様

鴨生第一行政区 匿名 様

石ヶ崎シニアクラブ 匿名 様

〔リングブル〕

山野第二 古賀 絹江 様

錢代坊 匿名 様

鴨生北町 矢野きさ子 様

尾浦第一 大津 弘子 様

大橋 姉川 亮太 様

蛭子 藤原 幸男 様

立石 武田 悦子 様

立石 矢野 千恵 様

古河 藤田 信彦 様

古河 甲斐 良子 様

下益 初井 誠一 様

下牛隈 匿名 様

嘉麻市商工会 様

長円寺仏教婦人会 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

〔古切手〕

山野第二 古賀 絹江 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

蛭子 武田 悦子 様

五日町 匿名 様

下牛隈 匿名 様

嘉麻市福祉事務所保護課 様

教育ナビゲーション(株) 様

JAふくおか嘉穂南浦 様

グリーンセンター 様

〔アルミ〕

古河 塚原 京子 様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

6月1日～6月30日受付分

〔漆生中央〕岡山文字、6組(十口)、7組(二口)、8組(三口)

〔稲築才田〕山本虎彦、大山邦夫、野崎静子、大山喜秀、有久建造、大木政敏、大木貞男、木下国光、奥迫文男、奥迫藤子、向井愛子、大山博之、長町カメ子、吉浦孝二、福田卓也、東小野智、野見山清隆、高鍋厚、大津テル子、桑野英俊、曾我部美枝子、白石ツタエ、茅野廉平、兵道和世、片丘末喜、松尾久士、松尾博昭、今宮優介、富崎静江、西野文字、江川ハツミ、柳田シス、

松尾洋子、松尾ヤスミ、上提マツ子、西田亥名男、森三千子、松田茂、松田クニ子

〔西岩崎〕高橋修、野口涼子、高原静男、金丸浩、西野千恵、村川直、池田保夫、西野久威、松隈桜子、長岡カズ子、山倉依子、清家清江、佐藤文男、大場勝、中野茂、江野ミヤ子、松熊律枝、前川洋子、木村一守、副島光生、有田民子、本田ミチ子、右田伝、永光多喜子、永光昌弘、永田シゲ子、北原季子、松本ヒサ子、溝口節子、金丸直子、野見山静子、溝口光世、水口孝子、永光信子、永光ハツコ、沖島万作子(二口)、渡辺早苗(二口)、嘉穂観光(三口)、福沢道子、平川久枝、香月アサ子(二口)、永野和則(二口)、松隈写真館(三口)、筑前生コンクリート(株)(五口)、檜山ツナ子(三口)、高嶋清香、河津英男

〔口春〕平田裕子、永易敬行

〔山野第一〕中山悦子

〔鴨生町〕棚田幸子

〔平第二〕山崎ぬい子、村岡隆志、佐藤美、松本三枝子、大友友就、沖年幸、上村忠達、福田敏幸、宮本敏夫、柿原幸枝、中島吉則、川端マサコ、香月義一、国安喜代子、今泉進、大山征男、山本康治、西村光昭、竹村恵美子、清川栄、大利宗嗣、東川文字、西田美智子、武田憲児、西坂勝正、岩橋トシ子、今村久子、加来良子、渡辺富美子、桐原理枝、松本芳明、宮内佐恵子、平田品子、坂田公一、西田安之助、西田雅範、坂田清子、手島ミヤノ、岩崎哲夫、山平由美、西田義明、宮崎紀久子、田村テル子、篠崎良輝、陶山茂、大庭淑子、中村朋子、砂浪喜信、竹川富士松、加地タクシ、松隈勇夫、岸

昌幸、花田匡哉、地藏原満隆、駒山登志子、富山澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、松熊タケ子、野川勝博、日田キヌ子、松岡俊秀、井下雄次、松本信子、西村富士子、大園節子、山室伸次、野口明美、金国大介、手柴敏幸、伊藤英飯、嶋田浩二、三宅末子、田中裕士、大城淑子、川根敬子、橋本隆、倉智康治、山口未美

〔藤見台〕匿名

〔枝坂〕白土綾乃、阿座上利雄(二口)

〔熊ヶ畑第一〕広瀬須代子、広瀬ヤス子、広瀬澄子、平嶋洋和、金崎泰、金崎秀敏、大塚由美子、大里弘子、伊藤千輝、篠崎悟志、荒木美千代、笹尾己巳子、笹尾シズ子、笹尾栄子、大里清美、金崎文字、笹尾忍、伊藤秀、大里秀子、大塚毅、笹尾美代子、伊藤浅男、笹尾恭子、金崎寛治

〔熊ヶ畑第三〕平嶋和久、平嶋登、大田一利、渡辺るみ子、岩崎キミ子、中村初雄、藤本アヤ子、田中芳浩、吉田レイ子、中原芳洋、大田悟、野尻六直生、福岡ウタ子、平嶋善和、福岡重人、平嶋狼介、平嶋登、平嶋信美、平嶋モト、平島和範、平嶋宏行、平嶋勝、平嶋奏、坂口勝幸、筒丸ツナ子、平嶋和明、儀間真隆、平嶋利勝、平嶋ツヤ子、吉田上之助、平嶋顕信

〔百々谷〕畑迫豊江、中川、ミネ子

〔神幸〕伊藤サチコ、溝口晴水、樋口豊、原田豊介、原田敦子、井上大典、井上絹江、村上曙生、村上フクエ、大塚ハナエ、渡辺純一、松岡俊吉、松岡美知子、樋口毅、小山英昭、渡辺利子、長与泰三、日高秋憲、松岡一豊、松岡宏明、松岡サト子、初井百合子、植上礼子、井上政子、有吉文字、市原隆志、中場キヨ子、此経久仁男、松岡美

昌幸、花田匡哉、地藏原満隆、駒山登志子、富山澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、松熊タケ子、野川勝博、日田キヌ子、松岡俊秀、井下雄次、松本信子、西村富士子、大園節子、山室伸次、野口明美、金国大介、手柴敏幸、伊藤英飯、嶋田浩二、三宅末子、田中裕士、大城淑子、川根敬子、橋本隆、倉智康治、山口未美

〔藤見台〕匿名

〔枝坂〕白土綾乃、阿座上利雄(二口)

〔熊ヶ畑第一〕広瀬須代子、広瀬ヤス子、広瀬澄子、平嶋洋和、金崎泰、金崎秀敏、大塚由美子、大里弘子、伊藤千輝、篠崎悟志、荒木美千代、笹尾己巳子、笹尾シズ子、笹尾栄子、大里清美、金崎文字、笹尾忍、伊藤秀、大里秀子、大塚毅、笹尾美代子、伊藤浅男、笹尾恭子、金崎寛治

〔熊ヶ畑第三〕平嶋和久、平嶋登、大田一利、渡辺るみ子、岩崎キミ子、中村初雄、藤本アヤ子、田中芳浩、吉田レイ子、中原芳洋、大田悟、野尻六直生、福岡ウタ子、平嶋善和、福岡重人、平嶋狼介、平嶋登、平嶋信美、平嶋モト、平島和範、平嶋宏行、平嶋勝、平嶋奏、坂口勝幸、筒丸ツナ子、平嶋和明、儀間真隆、平嶋利勝、平嶋ツヤ子、吉田上之助、平嶋顕信

〔百々谷〕畑迫豊江、中川、ミネ子

〔神幸〕伊藤サチコ、溝口晴水、樋口豊、原田豊介、原田敦子、井上大典、井上絹江、村上曙生、村上フクエ、大塚ハナエ、渡辺純一、松岡俊吉、松岡美知子、樋口毅、小山英昭、渡辺利子、長与泰三、日高秋憲、松岡一豊、松岡宏明、松岡サト子、初井百合子、植上礼子、井上政子、有吉文字、市原隆志、中場キヨ子、此経久仁男、松岡美

保子、会田むつみ、大里徹治、甲斐キヲノ、小屋野治、永田和秀、松岡チト七、松岡正子、松岡敦子、森昌史、松岡チエ子

〔筑紫〕荒平正子、永岡真弓、山本初子、江藤登志子、山下貞子、前田ミチ代、鈴木光枝、片岡敏子

〔大橋〕吉木正弘

〔原町〕松岡平、寺田守、寺田和子、柴田晴吉、松井晴枝、山木正夫、國本美紀子、高倉純子、高野敏寛

〔蛭子〕堀口征一郎、溝口寿、佐藤武則、佐々木義夫、水野清勝

〔昭和〕原男二

〔三菱第一〕藤原民野

〔ゆうひが丘〕木附勝美、岩崎利信、森友光子、松岡康則、大和忠則、穂坂一克、北野祥子、塚原久美子、佐々木喬、芝勉、木本照恵、和田房光、藤木孝子、中竹良江

〔立石〕矢野久紀、大塚正近、山口松枝、府川豊、有吉三郎、野田勝子

〔新原〕北原智恵美

〔山下〕山本幸枝

〔石ヶ崎〕平田信孝

〔飯田〕二川裕孝、高原綾子

〔下益〕川並光子

〔下牛隈〕匿名 様

〔嘉穂才田〕伊藤久美子

〔嘉麻市〕在宅介護者の集い「こころ(八口)

〔松山市〕木許芳子

〔防府市〕月俣シズエ



ふるさとへの手紙 No.114



こうせいしょうかんしゅうし
中国 江西省贛州市
在住
山本 由貴さん
貞月出生

「故郷」といつたらう？

「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に いでし月かも」

今からおおよそ1,300年前、阿倍仲麻呂が読んだ望郷のうたです。19歳で遣唐使に選ばれ渡唐。時の玄宗皇帝に気に入られ、帰国を許されなかつた彼が、30年たつてようやく帰国できることとなり、その送別の宴の席で詠んだという説があります。

私は、現在中国は江西省の贛州市で暮らしています。贛州は上海から飛行機を乗り換え、さらに1時間半で到着する、南の内陸の都市です。宋代の史跡が残る大きな街です。人口は約1,000万人で、レアアースなどの鉱物資源とオレンジが特産品です。日本のうたと南に位置していますが、意外にも気候は嘉麻市と変わりません。夏はやはり暑いですが、湿度はそれほど高くありません。常夏かと思いきや、冬は冷え込みますし、数年に一度ですが雪も積もります。こちらに来て7年、ずっと江西

理工大学で日本語を教えております。現在日本語学科には1クラス30名前後、1年生から4年生までで125名の学生がおります。授業は日本語だけではなく、歴史や文学、文化なども担当しております。

その文化の授業で使用している教科書に「日本人は故郷と聞くとその景色を、中国人は家族や友人の顔を真先に思い出さず」とありました。初めてそれを読んだときは、こちらに来て間もない、ホームシック冷めやらぬ頃で、家族のことばかり考えていたものだから、「そんなバカな」と思ったものです。

しかし数年がたち、こちらの生活に慣れてきますと、なるほど、故郷の話をするとき頭の中にあるのは緑にたなびく田園と嘉穂三山、青い空に入道雲といった夏の嘉穂の姿です。

「本当に日本人は故郷と聞いて景色を思い出さずんですか」と学生から聞かれます。ひょっとして私だけじゃないか……とも考えましたが、冒頭の阿倍仲麻呂のうたにその答えがありました。1,000年以上前の方も故郷を思う時は必ず景色だったんですね。

中国の学生の故郷をテーマにした作文の大部分を占めるのは、家族や友人との思い出です。同じアジアでもやはり文化の違いがあるものだなと思います。

夏休みには私もそろそろ帰国しようと思えます。故郷の美しい景色を眺めながら、母の手料理を食べるのが今から楽しみです。

公開講演会のご案内

この度、飯塚市・嘉麻市・桂川町社会福祉協議会の主催による公開講演会を開催することになりました。障がい者虐待の問題について考えたいと思いますので、ぜひご参加ください。

日時 平成27年9月2日(水)
15:00~17:00 (受付 14:30~)

場所 なつき文化ホール

講師 毎日新聞社論説委員 野沢和弘氏

参加対象 関心のある方

参加費 無料

参加申込み 8月26日(水)までにお申し込みください。

《問い合わせ・申し込み先》 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

コラム 交差点

1945年、8月15日、ラジオで戦争が終わったことを知りました。私は5歳でした。子どもながらに、兵隊さんたちが恐いと思っていました。その夜は、お盆で川に花を流すことを禁止されていたので、映画館近くの溝に花を流しました。

終戦時は、アメリカ軍に占領され日本語を話すことが禁止され、英語で話さなければいけなくなるのではないかと不安になりました。

家に竹槍と長槍を準備していたことも思い出されます。毎日、食べ物不足していて庭で芋を作って食べていました。今、改めて平和の大切さをお話ししています。

(百々谷 中西 三四郎)

編集後記



市内社会福祉法人施設のみなさんとの意見交換会では、貴重な意見をたくさんいただきました。1つの法人ではできないことも力を合わせるといろいろな可能性が広がることを教えていただき、とても勉強になりました。(きはら)



中益サロンの取材に伺った時、みなで会員に加入しようと呼びかけ協力していただき、とても嬉しかったです。これから一緒に支えあいのまちづくりを進めていけたらと思います。(みぞくち)



在宅介護者リフレッシュ事業で、福祉用具展示室を見学しました。介護する人、受ける人が安心して、安全に、そして少しでも楽しくできるように、細部にわたって様々な工夫や配慮がされていることがわかりとても勉強になりました。(たけがわ)



ボランティア募集情報を見て、「自分のやれる範囲で活動してみたい」と問い合わせをいただき嬉しかったです。夏休みはいろんなボランティア活動がありますので、お気軽にセンターにお問い合わせください。(あかま)



「今月のえがお」で、鴨生第一サロンの方が取材に協力してくださいました。初めての取材で緊張しましたが、快く応じていただきました。今後またたくさんの方に出会い、いろんなお話を伺いたいと思っていますので、よろしく願いいたします。(まる)



コラム交差点では、私が知る事の出来ない終戦時の状況を教えてもらいました。平和の尊さを感じ、食べ物を大切にしなければならぬと改めて思いました。(ごうはら)